



学校だより

令和5年11月30日
横浜市立上白根小学校
【12月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



相手の気持ちになって

校長 小嶋 一喜

11月の「かみしらねっ子」を紹介します。

登校中の出来事です。ある姉妹と一緒に学校へ向かっていました。途中、妹が転倒してしまいました。ひざをすりおき、出血をしていました。そばを通った6年生が、近くの水道で出血した膝を洗い、ティッシュで血をぬぐってくれました。そのあと、歩きづらかった妹をお姉さんがおんぶして学校に向かっていきました。二人のランドセルは、近くにいた友達が持ってくれました。正門のところで、お姉さんに「かわろうか」と尋ねましたが、返答がなかったので「保健室まで行ける?」と聞くと、大きくうなずいて、坂を上っていきました。頼もしいお姉さんの姿、安心して背負われている妹、ランドセルを前と後ろにもっている友達の姿がだんだん小さくなりました。やさしい子どもたちの姿に心が温まりました。

11月20日小春日和の下、2回も延期になった全校遠足がようやく行われました。少し紅葉が進んでいた四季の森公園で、1年生から6年生が入った「なかよし班」でポイントラリーや班遊びをしました。ポイントラリーでは、高学年の児童が低学年の児童と手をつなぎながら公園内を歩き、グループで協力するゲームをしました。葉っぱの大きさを順番に並べるゲームのときには、クリアを目指して、リーダーを中心にみんなに声をかけている姿が見られました。他のゲームでも、班の人たち同士がかかわりあえるように工夫されていました。うまくいったときには、みんなで喜び、うまくいかなかったときにはみんなで励まし合う姿が見られました。班の遊びでは、ブランコにのっている低学年の子の背中を押してあげたり、水筒を預かってみんなが遊びやすいようにしたりする高学年の姿が見られました。



本校の学校教育目標の中に「信頼と安心と笑顔の学校」という言葉があります。相手の気持ちになって行動できる子どもたちをこれからも家庭・地域・学校が連携して育てていき、笑顔であふれる上白根小学校にしていきたいと思います。